

アキノキリンソウとカマキリ

道路や歩道に見られる黄色い花が病院裏の駐車場で満開になっていました。どこにでも咲いている印象の花ですが、そのためか、秋の花粉症の原因の一つにもなっている花です。草取り作業の際には必ず出会う草でまったく珍しくないのですが、こんな花がたまたま目についてしまいました。これがワンちゃんの皮膚病に繋がってしまうのがイタイところです。



ワンちゃんの秋の花粉症の一つはアレルギー性皮膚炎です。くどくなってしまうましたが、結論的に、ああ、また皮膚病の時期になったかな、と思ったわけです。ネコさんも関係するのが、ノミアレルギー性皮膚炎です。こちら秋の皮膚病の代表選手となっています。ワンちゃんもネコさんももう少しノミ予防をしてあげましょうね。



同じような時に道路でカマキリに会いました。こちら別にも珍しくないものです。自分の小さいころは結構捕まえていたような気がしました。家の中にはあまり入れていなかったのに、家の中でカマキリが生まれてしまい、小さなクモのようなカマキリの子供が、うじゃうじゃ部屋にいたことがあったな、なんて、ふっと思い出しました。身近すぎる自然ネタかもしれませんね。本当はお出かけでもして、紅葉がきれいですね！なんて載せられたらいいですよ？

ネコのゴロゴロの獣医学的論文

勉強ネタを探しているときに、ちょっと目につく論文がありました。あるシエルトターのネコたちに、1日4回10分ずつ触ってゴロゴロ言わせたネコとそれをしない猫に分けると、ゴロゴロ言わせたネコたちの方が免疫状態がいいと証明された、という論文です。

詳細を見ていくと、ゴロゴロでリラックスするとイライラ感が減少し、免疫タンパク質が増加しており、さらにネコ風邪の発生が減少した、という報告です。その方法や測定方法などは、再現性は高いと思われる、おそらく一度も再現していない〇〇細胞とは別次元のきちんとした論文であることもわかります。またくどくなってしまうましたが、まずは、すぐ現実的で実現しやすいかな、と思いました。毎日10分を4回は簡単ではありませんが、(こも大事)特別なものを必要とせずにおうちのヒトが出来る事となれば、役に立つ可能性は非常に大きいと考えます。ちょっと調子が悪い程度の際には、ゴロゴロいえる状態ならば、言わせてあげた方がいいかもしれません。しかしながら、調子が悪そうでゴロゴロ言えない時は、そっとしておかないとしんどいのもかもしれませんので、あまり執拗に構いすぎてもよくないかもしれません。おそらく予防効果をききたいです。その理理解をお願ひします。

お知らせ

トリミング混雑しております。早くも年末年始かなり埋まってきました。お早めにご予約お願い致します。

お休みなど

11/14 院長昼不在
11/23 午前診療
 院長不在
11/27 18時まで
12/16 院長不在
12/31 定休日

最新は
ホームページも
参考にしてください。

フィラリア予防とノーベル賞

北里大学の**大村先生**がノーベル賞を受賞されましたね
イベルメクチンという薬で世界に貢献されました。
そしてそれは驚異的な偉業と言われているそうです。
イベルメクチンは私たちにはすごく身近な薬です。
特にフィラリアをはじめ、寄生虫の駆除に本当に
幅広く使用されています。

イヌの寿命を10年引き上げた薬、とも言われています。 ↑こちら↑

(実際そう思います！。自分が子供のころに出会った、庭で飼育されていたワンコたちは、3歳とか5歳で普通に亡くなっていましたから。)

ヒトでも寄生虫の駆除などに使用できるようになった、と新聞に出ていました。認可の問題で、おそらく海外ではもっと前から人にも使われていたのでしょう。助けられた人も多いのではないかと想像できます。

薬の動きもすごいのもですが、先生のお人柄も素晴らしいですね。
お祝いと敬意を表し、ペットの飼い主さんにも、もっと知っていただいて
楽しいペットとの生活が長く続くようにお薬を使わせて頂こうと思います。
今月も(12月まで!)フィラリア予防は忘れずに!



長寿犬

動物愛護週間がありました。敬老の日と重なることもあり、当院も長寿の子を表彰しております。おめでとうございます。

次は誰かな？



ネコさんは毛玉シースン？

ネコさんが吐いて来院される頻度がちょっと上がっています。原因は様々ですが(おおよそ、週に1回以上吐いている時は普通ではありませんので、ご相談下さい。その中でも毛がたくさん抜けてきている子の場合には、毛玉の影響も考えてあげないといけません。お腹に入ってしまった毛玉は消化されませんので、上から下から出ないといけないわけなのですが、モノによっては、お腹のなかでカチカチになっており、結果便秘や腸閉塞を起すことに繋がるようです。詰まってしまうまでは手術しなくても済みますので、予防策が重用になるわけです。毛玉予防のサプリやフードも有効です。動物病院でも扱いのあるものが複数ありますのでたくさん吐く前にご相談ください。サマーカットも有効ですが、ネコさんの毛刈りはとても大変で麻酔が必要な場合があります。カットは予約制になっておりますので、どうしても必要な場合はお早めにご相談下さい。麻酔が必要な場合は、事前の検査、麻酔代は別途料金が発生しますのでご了承下さい。